



○炬火リレーで道の駅～越原コミュニティ消防センターを走った皆さん（関連4ページ）

今月の村長室から

○開会迫るぎふ清流国体
 今年は岐阜国体の年で九月二十九日の開会式に向けてムードが盛り上がってきました。

先月二十四日の炬火リレーでは小中学生や村民の希望者の方に走っていただきましたし、保育園の子どもたちがミナモダンスを踊って盛り上げました。また、応援に駆けつけてくれた大勢の村民の皆さんありがとうございました。村では国体の協賛行事としてウォークラリーを行います。村内外から多くの参加者を期待しています。

○第五部が県大会に出場

今月五日には消防団が岐阜県消防感謝祭の操法大会に出場しました。惜しくも入賞は逃しましたが大健闘でした。六月に加茂郡大会で優勝して以来更に練習を重ねており、その間団員諸君はもとよりご家族の方、職場の皆さん、消防署の指導員の方々と多くの人に協力頂き、心から感謝申し上げます。

この出場は村の消防団の士気の高揚につながるものと考えます。

○着工から十五年、ついに竣工

平成十年に着工した美濃東部区域農業用地総合整備事業が十一月二十七日に竣工します。そのうち白川町黒川と久須見を繋ぐトンネルと道路の開通式を八月五日に行いました。

ご協力頂いた地権者、計画し基礎を築いて頂いた先輩や工事関係者の皆様に感謝いたします。黒川との連絡交通が密になるほか、現在計画中のリニア新幹線の駅が出来る中津川市への乗り入れも視野に入れた重要な交通基盤となるものです。

また、この事業では農地の改良や整備も行いました。村では大口、日向、柏本で茶園造成を行いますでに成木園となっています。



the most beautiful
 villages
 in japan

周りの人たちへ「ありがとう」

第34回少年の主張大会



七月六日、恒例の少年の主張大会が行われました。はなのき会館ホールに集まったおよそ二百五十人の聴衆は児童生徒の真剣な主張に耳を傾けました。

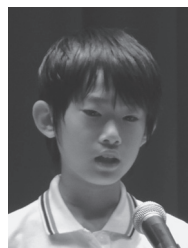
この主張大会は、村の少年が日ごろ考えていること、取り組んでいることなどを発表してもらい、私たち大人が現代の青少年の姿をより深く理解し今後の健全育成へ役立てようと思われているものです。

今年度の主張大会の発表者は小学五年生から中学三年生の五人で、それぞれのテーマで自分の体験や周囲の人々との関わりで感じたこと、それを受けて将来自分がどんな大人になりたいかなどを語りました。

今月号では五人の発表者の皆さんとそれぞれのテーマを紹介していきます。次代を担っていく子どもたちの思いを紹介します。

○「ぼくの宝物」

小学校五年 大坪宏至（上親田）



ぼくの弟は生まれた時から障がいがあり、歩くことができません

一緒に保育園に通えるか心配でしたが車イスで通えるようになり、小学校にも一緒に行けることをとてもうれしく思っています。

明るい弟に家族みんながパワーをもらい、その笑顔を見ると何でも頑張れる気がします。でも友だちの兄弟を見てうらやましく思うこともあります。

弟が歩けたら一緒に遊べるのにと思ったり、弟のせいで友だちと遊べないとかやしい気持ちになることもあります。弟のことを思うと自分が少し我慢すればいいんだと考えるようになりました。

弟は今二度目の大手術を受け、病院で頑張っています。ぼくの自慢は障がいのある弟と一緒に外に出ることを恥かしいと思わないこと、車イスを押すことをいやだと思わないでむしろ喜んで押すことです。

今人一倍頑張っている弟を誇りに

思っし、家族の中で輝いている太陽です。お兄ちゃんを頼りにしてね。ぼくの自慢の宝物、巧。

○「周りの人に支えられてきた私」
小学校六年 安江佳歩（陰地）



私は食物アレルギーで乳製品と卵が食べられません。給食はみんなと違うメニューを栄養士の方が考えてくださいます。

家ではお父さん、お母さんが食事のことを気遣ってくれています。お母さんは保育園の時、毎日お弁当を作ってくれました。

また、小さい頃は乳製品や卵だけでなくいろいろな物が食べられなかったそうです。私が乳製品と卵以外のものを食べられるようになり、じん麻しんやのどのかゆみが減ってきたのはお父さんとお母さんがアレルギーのことを勉強して少しずつ食べさせてくれたおかげです。

今の担任の先生も私のアレルギーのことを考えてくださっています。家庭科の授業で卵を使う調理実習の際に、私のために代替りの材料を用

意してくださいました。

私はお父さんやお母さん、学校の先生や給食センターの方のおかげで安心して食えることができ、生活しています。

将来アレルギーを克服し、今まで私のために気遣ってくださった人たちに「ありがとうございます」と伝えたいです。そして今度は私が周りの人たちを支えられる存在になりたいです。

○「家族」

中学校一年 安江美帆（黒瀨）



私の家は七人と一匹の家族です。とてもいい家族で、家族のために一生懸命働いていたり、普段ちょっとしたことでケンカをしたり、テレビを見てみんなで笑ったり、どこの家にもあるごく普通の生活をしています。

しかし東日本大震災によって家族との普通の生活ができなくなりました。家族がいなくて、家がなくなりました。

家族がいなくて、家がなくなりました。ひとりぼっちになってしまい、ごく普通の生活ができなくて、家族にも会えな

いのです。

それを思うと私がどんなに幸せなのか、どんなに恵まれているのかこの作文を書いていく上で初めてわかりました。家族がいて当たり前ということに感謝してこれから生活していきたいです。

実際に被災地に行つてボランティア活動をすることは難しいけれど、募金など今の私にできる精一杯のことをしたいです。

「家族とごく普通の生活ができるということとは当たり前ではない」というすばらしいことに気づくことができたから家族に感謝し精一杯生きて行きたいと思っています。

○「資源回収を通して学んだこと」
中学校二年 安江友里（上親田）



東白川村で行われている資源回収では各地域で集めるのは小中学生の家庭の

仕事です。しかし長瀬地区では小中学生のいる家庭が四軒から二軒に減ってしまいました。

資源回収で集めた利益は小中学校のものになるので資源を出して頂く

だけでもありがたく、近所の方にお願ひするのは申し訳ないと迷いましたが皆さんの方が朝早くから手伝つてくださいました。

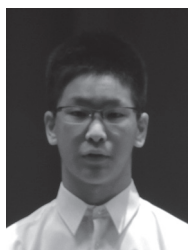
本当は私たちだけでやらなければならぬ仕事を文句も言わずいやな顔もしないで手伝つてくださりうれしかったです。

資源回収では資源回収を行う意味と地域の方の優しさ、あたたかさを知りました。これからはもっと子どもが減り、地域の方に助けて頂くことが増えると思います。だから私は地域で行われる行事に積極的に参加し、自分から明るくあいさつし、進んで行動して地域に貢献していきたいです。

子どもが少なくても元気で明るい村にし、感謝の気持ちを忘れないでこの村や地域のために頑張ります。

○「人生のイチブ」

中学校三年 磯村建太（陰地）



僕はバスケットボール部で「県ベスト4」を目指して練習を頑張っていた

とき、昔からあったアトピーがひど

くなりバスケットが出来なくなりました。夜は眠れず、大好きなスポーツをすることも大好きなギターを弾くこともできず、氣力を失いました。

精神的に壊れかけ、親に当たり、心配してくれる人の優しい言葉も苦痛以外の何ものでもなく、腹立たしく思ったり胸が張り裂けそうになったりする自分が嫌いでした。

今になって思えば優しい言葉をかけてくれた人々には感謝しているし、優しさを受け止められなかったことを申し訳なく思っています。

最近は何事かを前向きに考えられるようになり、アトピーの辛さや苦しみに向き合うことで以前よりも人の痛みや苦しみ、悲しみに寄り添うことができるようになったと思います。

辛くても苦しくても、その体験によって一回りも二回りも大きく成長することができるとです。

だからこそ出会うことの全てが人生のイチブなのです。

※紙面の都合により、文章を要約して掲載しています。
ご了承ください。

○夏休みの朝を健康に

―ラジオ体操会―

教育委員会とスポーツ推進委員会では、子どもたちが夏休みに規則正しい生活を送られるように、毎朝のラジオ体操を推奨しています。

子どもたちが体操を継続できるように応援する

ため七月二十三日に「ラジオ体操会」が行われました。会場の一つ、越原の夢広場むくハウスには児童と保護者、地域の方約五十人が集まりました。

体操は継続していくことで、体力づくりや「早寝・早起き・朝ごはん」といった基本的な習慣づくりに役立ちます。



早朝から元気に体を動かします

○村民でつなぐ「絆の炎」

―清流国体・清流大会炬火リレー―

ぎふ清流国体・清流大会の開催が迫るなか、現在炬火リレーが県内全市町村をめぐるついでに、七月二十四日には本村を回り、村民五十人の手でつながれました。

この炬火は、県民への公募により震災復興と日本再生の思いを込めた「絆の炎（ひ）」と名付けられています。

走者は村内に住む大人二十人と小中学生で、村内五区間を十人ずつに分かれて走りました。沿道には多数の村民が駆けつけ、走者を応援していました。

この日炬火は、五区間をリレーで



走者を応援する村民



国体出場候補者と大会役員の皆さん

つなぎ、越原コミュニティ消防センターで翌日の中津川市に受け継がれました。

第五区の走者の一人、佐藤克行さん（陰地）は「ゆつくりしたペースに慣れなくて苦労したけど、最後まで頑張れてよかったです。大会に出場される方たちは皆を代表して頑張ってください。」と話していました。

また役場前では、炬火の歓迎式と国体出場候補選手および競技役員との激励会が併せて行われました。

本村からは国体クレー射撃に野村孝さん（柏本）が出場予定、清流大会のサッカー競技には熊崎将大さん（神付）が出場します。

○「絆の炎」でキャンプファイヤー

―青空友遊リーダー研修―

七月二十六日から二日間、中学校で青空友遊リーダー研修が行われました。対象の小学五・六年生は子ども会のリーダーの自覚と協調性を身につけるため共同生活をしました。

今年のキャンプファイヤーでは二十四日の炬火リレーで分火した火が使用され、また、班ごとの出し物では独自の振付をしたミナモダンスが披露されるなど、国体を意識した内容となりました。

子どもたちは「カレーをつくる」ときに他の班の鍋に灰が入らないように気を配った」など活動の中で自分で判断し行動できた場面を話していました。



炬火リレーで使用したトーチから火を受け取るリーダーたち

○女性釣り師、三つの河川で競つ
—ぎふ清流あゆレディース—



トーナメント—

県漁業協同組合連合会は初となる女性のみの鮎釣り大会を付知川、馬瀬川、白川の三か所で開催しました。

七月二十九日に中川原水辺公園付近を競技場所に行われ、県内外から二十六名が参加し釣果を競いました。

この大会では九匹（おとり含む）の澤田博美さん（岐阜市）が優勝、三大会の総合結果では小縣佳菜さん（本巣郡北方町）が優勝、初代チャンピオンに輝きました。

この日会場は参加者の家族やギャラリィで盛り上がり、県漁連の狙う今後の鮎釣り客増加への効果が期待されます。

○自然とのふれあいと林業体験
—森の美術展林業体験イベント—

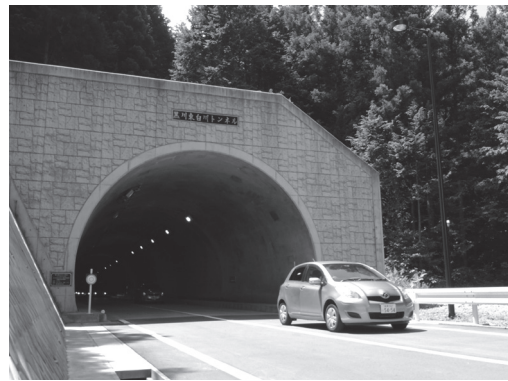
—NPO法人青空見聞塾が開催する「森の美術展」初日の八月四日、多くの人に森林に親しんでもらおうと青空見聞塾と林業グループによるイベントが開催されました。村外からの参加者と国際ボランティア約四十名は出展者が実際に絵を描く姿の見学や木工クラフト体験でのキーホルダー作り、インスタクターの森の話聞きながら林道を歩く「トレッキング」を楽しみました。

また終盤には林業グループの小森敏行さん（美濃加茂市）のひのきの伐採作業を見学、倒木の瞬間には参加者から歓声が上がっていました。



伐採作業を見学する参加者

○農道完成、農林業活性化に期待
—八月五日開通式—



開通となった黒川東白川トンネル

平成十年から十五年をかけて実施してきた美濃東部区域農業用地総合整備事業が十一月二十七日に竣工となります。この事業は農用地および農業用道路の整備を一体的に実施することにより、美濃東部地域の農業生産性の向上と農業構造の改善を図るとともに、地域の活性化に役立てようとするものです。

そのうち白川町と本村の農業用道路の開通式が八月五日に行われました。これらの道路により黒川方面への所要時間が大幅に短縮され、双方の農林業を中心とした地域振興に大きく貢献することが期待されます。

○部活動の成果を發揮
—中学校大会結果報告—

毎年夏は中学生が中体連などの大会でそれまでの部活動で練習してきた成果を發揮する時期です。

七月十四日から行なわれた美濃加茂市・加茂郡総合大会の結果は次の通りです。

団体

- ・バレーボール 女子 六位
- ・バスケットボール 男子 優勝
- ・ソフトテニス 女子 三位

- ・剣道 男子 三位
- 個人
- ・ソフトテニス女子

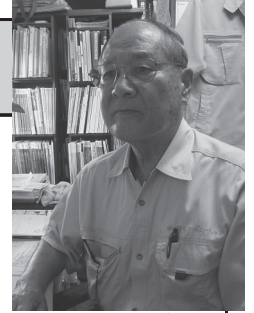
- 今井亜由美（陰地）・田中晴香（柏本）ペア ベスト8
- 村雲伊代奈（西洞）・安江咲良（下野）ペア ベスト16
- ・剣道
- 安江輝竜（平）一年ベスト8
- 安江陸（下親田）三年ベスト16
- 今井優希（平）三年ベスト16

その後可茂地区大会に出場し、どの部も県大会への出場は逃しましたが大健闘でした。

また吹奏楽部が岐阜県吹奏楽コンクール加茂東濃地区大会で銅賞を獲得しています。

東京東白川クラブより

東白川村の桜と音楽と物語
今井勝二さん（五加柏本出身）



四月二十一日、久須見の敬司さんが亡くなって一年の祭事がありました。懐かしい常磐園の神官さん、親戚や近所の方々や酒を酌み交わしながら貴重な一時を過ごしました。

この日は親友の田口三吉さんにご一緒していただき、春の東白川めぐりをしました。まずは五加神社を参拝、子どもの頃と全く変わらないうたが付きまじには驚きです。また昔は気が付きませんでした。柏本の集落から続く長い石段は丸みのある自然の石で出来ていました。機会があれば登ってみたいです。

それから中学校の同級生を訪ねながら大口、平を経過し大明神へ向かいました。途中の小谷の桜は満開でしたが、楽しみにしていた弁天桜は二分咲き程度でした。残念に思いましたがこの樹齢五〇〇年以上の木のオーラを十分に体に受け入れてきました。花と緑を追いかけながら、村内の標高差を実感しました。

夜七時から、はなのき会館で「ファミリーコンサートinひがししらかわ」を鑑賞しました。村の人

口二千七百人弱に対して、二百人近く集まった聴衆には驚きました。

翌朝、三吉さんと六十年以上前の中学校に通っていた頃のにぎやかな神土のまちを思い出しながら中野屋旅館から神田神社に向かいました。平らにカットされた石段を見て五加神社の丸い石段を思い浮かべました。

十時には名古屋で中京村人会の総会に出席しました。そこで「読み聞かせボランティア夢風船」の皆さんの満蒙開拓団の姿「ああ満州よ」の朗読にとても深い感動を覚えました。できれば東京東白川クラブの皆さんにも聞いていただきたいと思いました。



五加神社の石段

お知らせ

子育てママの会 9月開館日

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|---|
| | | | | | | ① |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | ⑧ |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | ⑮ |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | ⑳ |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | ㉑ |
| 30 | | | | | | |

退職金

社長の決断、応援します。

中退共の退職金制度なら

安全

国の制度だから安心
新規加入や掛金を増額する場合、掛金の一部を国が助成します。

有利

掛金は全額非課税
手数料もかかりません。

簡単

社外積立で
管理も簡単

納付状況や退職金試算額を
事業主さんにお知らせします。

パートタイマーさんや
家族従業員も加入できます



詳しくはホームページへ

中退共

検索

お問合せはお気軽に

(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

TEL (03) 6907-1234

FAX (03) 5955-8211

戸籍の窓

7/1
～7/31

(敬称略)

- 誕生おめでとうございます
安江麻結 (栄太郎・梨恵子 / 平)
蒔田芽楽 (和也・あい / 柏本)
- お悔やみ申し上げます
島倉みさ子 79歳 (平)

ありがとうございました 御寄付

8/1～8/31
(敬称略)

【東白川村】

■ふるさと思いやり基金指定寄付
金 10万円…田口久子 (美濃加茂市)

■教育委員会指定寄付
金 10万円…島倉宏之 (平)

■医療・保健福祉部門指定寄付
洗濯洗剤 10箱、清拭布
…山中ちさ子 (平)

清拭布…今井信子 (大沢)

■小学校指定寄付

白川茶 10箱…東白川村茶業振興会

【社会福祉協議会】

金 10万円…桂川董 (黒淵)

金 1,346円…匿名

鮎…シマノジャパンカップ
鮎釣り大会参加者

清拭布…老人クラブ

フォークダンスクラブ

清拭布…匿名

古切手、テレホンカード

…わかば会

古切手…(有)伸光電気工事

古切手…大明神木材

東白川森林組合月末報告 第647回共販会

ひのき 13cm以下小丸太…平均単価 /7,600円
ひのき 14cm以上…平均単価 /20,000円 高値 /104,400円
すぎ…平均単価 /9,600円 高値 /15,700円
赤まつ…平均単価 /5,900円 高値 /6,000円
総取扱量 /258 m³ 総販売高 /403万9千円

国民年金の納め忘れのある方へ

10月から国民年金の後納保険料の納付が始まります

○10年分までさかのぼって納付できます
これまで納め忘れの国民年金保険料を遡って納付できる期間(納付可能期間)は過去2年間でしたが、後納保険料の納付では10年間に延長されます。

○納付は平成24年10月1日～平成27年9月30日
この期間を過ぎると後納保険料の納付はできなくなりますのでご注意ください。

○後納保険料の納付にはお申し込みが必要です
後納保険料の納付は事前のお申し込みが必要となります。後納保険料の納付が開始されたら、お近くの年金事務所にお申し込みください。

※納付の申出日の属する年度から起算して3年度を越える期間の保険料を納付する際は、保険料額に加算金が発生しますのでご注意ください。

○お問合せ

国民年金保険料専用ダイヤル：0570-011-050

受付：平日 8:30～17:15 第2土曜日 9:30～16:00

9月は防災月間 総合防災訓練を行います

近い将来に発生が危惧されている東海・東南海大地震を想定した村の総合防災訓練を9月2日(日)に行います。当日は有線放送のほか、今年度から導入したエリアメール・東白川メールで告知を行います。

訓練は消防団や各地区の自主防災会ごとに行なわれますので、それぞれの予定に従って訓練を行なってください。

○共通の日程

| | |
|---------------|---|
| 8:00～ 1次訓練 | 訓練開始 |
| 8:30～ 2次訓練 | 各防災会ごとの訓練開始 消火栓取扱訓練、消火栓ホース点検、危険箇所や要援護者の居所、避難ルート確認 など |
| 10:00～ | 各会別に解散 |

加茂医師会 9月の休日診療のご案内 (診療時間：午前9時～午後5時)

| 日付 | 曜日 | 当番病医院 | 住所・連絡先 (市外局番 :0574-) | 医師 |
|----|----|--------------|----------------------|-------------------|
| 2 | 日 | うえだクリニック | 美濃加茂市下米田小山 1046-7 | TEL:26-2281 上田竜也 |
| 9 | 日 | 石原医院 | 富加町羽生 1481-2 | TEL:54-3121 石原成樹 |
| 16 | 日 | 木沢記念病院 | 美濃加茂市古井町下古井 590 | TEL:25-2181 渡邊篤 |
| 17 | 月 | 日江井外科 | 美濃加茂市古井町下古井 2979-6 | TEL:25-2624 日江井賢 |
| 22 | 土 | 粕谷医院 | 八百津町八百津 3278-1 | TEL:43-0035 粕谷信秀 |
| 23 | 日 | 太田メディカルクリニック | 美濃加茂市太田町 2821-4 | TEL:26-2220 佐々木裕茂 |
| 30 | 日 | 西田醫院 | 美濃加茂市本郷町 7-134-1 | TEL:26-2220 西田佳央 |

ぎふ清流国体・清流大会デモンストレーションスポーツ行事
ウォークラリー大会

9月末から開催されるぎふ清流国体にあわせて、デモスポーツ行事のウォークラリー大会が村を会場に行われます。参加者募集の締め切りが迫っていますので、参加希望の方はお早めをお願いします。

○日時 平成24年9月30日(日)
8:30～ 受付 9:00～ 開会式
9:30～ 競技スタート 14:00～ 表彰式

○会場 こもれびの里周辺

○申込方法 8月31日までに、参加申込書に必要事項を記入し教育委員会に持参もしくは郵送してください。

申込書は8月に全戸配布されていますが、お持ちで無い場合は村のホームページからダウンロードするか役場教育委員会でお受け取りください。

○注意事項

※2名以上6名以下のチームで参加申し込みをしてください

※高校生以下及び18歳未満の方は保護者の同意が必要です

○問合せ先 役場教育委員会 (78-3111)



俳句

宵暗や ホタル飛交う 谷間より
耳遠し 夫の涙の 一しずく
かすみ草 梅雨の晴間の ゆれ見つむ
釣り人が 不動の岩場や 夏の川
いくばくの 命がはげし 蝉しぐれ
梅雨明けや 川の釣り人 鮎おどる
村雲とみ子
安江 栄香
安江とくよ
安江 峰子
村雲とみ子
村雲 春子
村雲とも子
(あけぼの俳句の会)



三十六回郷土歌舞伎公演

華麗な歌舞伎絵巻が楽しみな郷土歌舞伎公演が今年も行なわれます。地元の名優が見得を切るこの郷土歌舞伎に、皆さんお誘い合わせてご来場ください。

○上演外題

・奥州安達ヶ原 三段目

・白波五人男

・碁太平記 白石噺

・浮世柄比翼稲妻く仲ノ町鞆当の場く(小学六年生)

○期日 九月十六日(日) 正午開演

○場所 はなのき会館

○問合せ 役場教育委員会 東白川村歌舞伎保存会
事務局(内線四二〇)まで

編集後記

夏も真つ盛りになり、夏バテになつている方もみえるのではないのでしょうか。数ある対策のひとつに軽い運動も効果的だと思えます。記事にもありますが、ラジオ体操が各地域で行われています。朝一番で体を動かすと一日のスタートが気持ちよく切れます。私も以前勤めていた会社では就業前に体操をしていました。今でも疲れを感じた時など時間をつくって行なっています。皆さんも思い立ったときに行なつてみてはいかがでしょうか。(Y)

人口の動き

ー7月末住民登録人口からー

| | |
|---------|-----------------------------|
| 世帯数 | 869世帯 |
| 人口 | 2,661人 (男1,277人 女1,384人) |
| 転入 | 2人 |
| 転出 | 6人 |
| 出生 | 2人 |
| 死亡 | 2人 |
| 先月と比較して | 4人減 |
| 昨年と比較して | 43人減 |